

芸術科【音楽Ⅰ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)				
科目目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>				

令和6年度 1学期 芸術科【音楽Ⅰ】 評価規準

題材	歌唱1 楽曲にふさわしい発声を身に付け、表現を工夫しよう 「翼をください」(合唱)、「野ばら」(独唱、合唱)	
評価時期	4月～7月	
題材の目標	<p>(1) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、感受したそれらの働きについて考察し、どのように表すかについて表現意図をもって歌唱することができる。詩の情感を味わいながら、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に合唱や独唱の表現活動に取り組む態度を養う。グループ活動を通して、作品理解や音楽表現について思考し意見交換を行うことで、興味・関心を深め、その価値や魅力を理解しようとする態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、感受したそれらの働きについて考察し、どのように表すかについて表現意図をもって歌唱することができる。 詩の情感を味わいながら、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・協働的に合唱や独唱の表現活動に取り組もうとしている。 グループ活動を通して、作品理解や音楽表現について思考し意見交換を行うことで、興味・関心を深め、その価値や魅力を理解しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技発表
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 ・実技発表
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察

題 材	創作1 リズムで作曲してみよう 西洋音楽の楽典から音符と休符、拍子	
評価期間	5月～6月	
題材の目標	<p>(1) 音を連ねたときの響きや、音型や構造の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽を作る技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することができる。</p> <p>(3) 自己のイメージをもって創作表現を行う学習活動に興味・関心をもって、主体的・協働的に取り組む態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音を連ねたときの響きや、音型や構造の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽を作る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもって創作表現を行う学習活動に興味・関心をもって、主体的・協働的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・作品提出 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・作品発表 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	

令和6年度 2学期 芸術科【音楽Ⅰ】 評価規準

<p>題 材</p>	<p>歌唱2 様々な国の言葉で、曲の雰囲気味わいながら歌唱しよう 「我が太陽」、「オー シャンゼリゼ」、「荒城の月」、「Tonight」</p>	
<p>評価期間</p>	<p>7月～10月</p>	
<p>題材の目標</p>	<p>(1) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、旋律、テクスチュア、形式などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って歌唱することができる。詩の情感を味わいながら、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、自らの感性を高めながら、音楽文化に親しみ豊かに関わろうとする態度を養う。</p>	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム、旋律、テクスチュア、形式などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って歌唱することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、自らの感性を高めながら、音楽文化に親しみ豊かに関わろうとする態度を身に付けようとしている。
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技発表 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 ・実技発表 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	

題 材	器楽1 ギターの響きを楽しもう 「Happy Birthday To You」、「カントリー ロード」、「いつも何度でも」	
評価時期	7月～11月	
題材の目標	(1) 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、テクスチャなどの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 (3) 楽曲にふさわしい音楽表現の創意工夫や音色の探求に、興味・関心を持ち、主体的・協働的に器楽の演奏活動に取り組む態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、テクスチャなどの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲にふさわしい音楽表現の創意工夫や音色の探求に、興味・関心をもって、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技発表 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 ・実技発表 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	

題 材	鑑賞1 舞台エンターテイメントの音楽表現について感じ取ろう ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」、歌舞伎「京鹿小娘道成寺」	
評価時期	9月～11月	
題材の目標	(1) 作品や音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。また、我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 (2) 音色、リズム、旋律、テクスチャなど音楽を形づくっている要素や要素同士の間接を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 (3) 物語に描かれた社会背景や登場人物の心情と、音楽表現の創意工夫の関係について探求することに、興味・関心をもって、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、旋律、テクスチャなど音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語に描かれた社会背景や登場人物の心情と、音楽表現の創意工夫の関係について探求することに、興味・関心をもって、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・教師による活動観察 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・教師による活動観察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	

題 材	鑑賞2 音楽鑑賞の楽しみを伝え合おう 音楽鑑賞レポート 交響詩「魔法使いの弟子」	
評価時期	8月、11月	
題材の目標	(1) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 (2) 音色、リズム、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 (3) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について興味・関心をもって探求し、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値について探求することに、興味・関心をもって、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・教師による活動観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・教師による活動観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察

令和6年度 3学期 芸術科【音楽Ⅰ】 評価規準

題 材	器楽2 箏音楽の特徴を感じ取ろう 「六段の調べ」	
評価時期	12月	
題材の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(3) 箏音楽のよさや文化的背景について、興味・関心をもち、自己のイメージをもって、曲想にふさわしい奏法や音色の探求する学習活動に、主体的・協働的に取り組む態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって器楽表現を創意工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箏音楽のよさや文化的背景について、興味・関心をもち、自己のイメージをもって、曲想にふさわしい奏法や音色の探求する学習活動に、主体的・協働的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	

題 材	まとめ クラスコンサートを開催しよう	
評価時期	12月～3月	
題材の目標	<p>(1) 演奏曲として選択した楽曲について、曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。または、創作作品を発表する場合には、音素材や音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解して創作する。いずれの場合も、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。</p> <p>(2) 演奏曲を特徴づける音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって演奏表現の創意工夫をしたり、相互鑑賞を通して、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p> <p>(3) 他者と協力しながら、興味・関心をもってクラスコンサートの準備や本番に臨み、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組み、豊かに音楽と関わろうとする態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏曲を特徴づける音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって演奏表現の創意工夫をしたり、相互鑑賞を通して、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協力しながら、興味・関心をもってクラスコンサートの準備や本番に臨み、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技発表 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・実技観察 ・実技発表 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による活動観察 	